



MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂顕彰式を開催

MFJ は、日本のモーターサイクルスポーツの歴史を後世に伝え、輝かしい実績のあった選手ならびに関係者を顕彰するため、2018年度より「MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂」を設立いたしました。本年は功労者部門を対象として藤井 璋美氏を選出させていただき、ご子息の藤井 正和 氏 (F.C.C. TSR Honda France 総監督) にご出席いただき、東京都内にて顕彰式を開催いたしました。

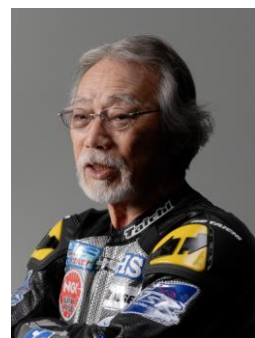


(左から) 大久保 力 MFJ 殿堂評議会 委員長、トロフィーを手にした藤井 正和 氏、
鈴木 哲夫 MFJ 会長、坪内 隆直 MFJ 殿堂評議会 委員

●2022年度MFJモーターサイクルスポーツ殿堂 顕彰者：

藤井 璋美 氏

1950年代からライダーとして活躍し、ライダー引退後は「テクニカルスポーツ」を設立、数々の優れたライダーを輩出するとともに、レース運営にも携わり、鈴鹿サンデーロードレース、鈴鹿8時間耐久レース等の創世記に大きく貢献した。また、MFJロードレース委員長を長きにわたり務め、競技の普及振興に寄与した。



..... このリリースに関するお問い合わせは

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

〒104-0045 東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F

Tel: 03-5565-0900 / Fax: 03-5565-0907 / Email: info@mfj.or.jp

PRESS INFORMATION



Motorcycle Federation of Japan

2022年11月28日発行

●選考理由

去る9月にMFJ モーターサイクルスポーツ殿堂評議会を開催し、今年度は功労者部門から選出することとなり、以下の理由により藤井氏を選出することを決定いたしました。

藤井 璋美氏（1929年～2015年）は1950年代からモーターサイクルレースで活躍した経験・知識等を活かした後進の育成に努め、数々の優れたライダーを輩出した。その活動は、日本のレースが未成熟だった時代からマシンの整備技術者・競技役員養成にも及び、時代ごとに変わるマシン性能に即したレース内容や性能差に伴う平準化の探求に努め、競技規則の改革・マシン製作分野にも大きな役割を果たした。

今や世界的なイベントである鈴鹿8時間耐久レースも斯様な藤井氏の活動の背景より創出されたものであり、50年余に渡る斯界の普及・促進に果たされた功績は誠に大きい。

MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂評議会

委員長 大久保 力

●MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂 概要

- 目的：
- ・ 日本のモーターサイクルスポーツの歴史を後世に伝える
 - ・ 輝かしい実績のあった選手・関係者を顕彰する
- 役割：
- ・ 過去に功績のあったライダー・関係者等を殿堂入りとして顕彰すること
 - ・ 殿堂入りの基準を定め、候補者を選抜すること
 - ・ 過去の競技結果・映像・画像・歴史の収集
 - ・ 専用ホームページを設ける。



公式ロゴマーク

MFJ 殿堂評議会：

委員長	大久保 力
副委員長	森脇 南海子
委員	高桑 元
委員	坪内 隆直

●MFJ モーターサイクルスポーツ殿堂 過去の顕彰者

2018年度	高橋 国光 氏、伊藤 光夫 氏
2019年度	本田 宗一郎 氏、吉村 秀雄 氏
2021年度	久保 和夫 氏、鈴木 忠男 氏、山本 隆 氏、吉村 太一 氏

以上

..... このリリースに関するお問い合わせは

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）

〒104-0045 東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F

Tel: 03-5565-0900 / Fax: 03-5565-0907 / Email: info@mfj.or.jp